



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

**エジプト：大統領選挙が終了、スィーサーの勝利は確実**

28日、大統領選挙が終了した。投票日程は5月26・27日の2日間の予定であったが、投票2日目の27日夜に急遽投票期間の1日延長が発表された。投票期間は26～28日の3日間となった。大統領選挙委員会（PEC）は延長決定の理由を、投票所に行きたいが行くことができない有権者が数多くおり、彼らに投票機会を与えるためと発表したが、投票率の低さが真の理由とみられる。スィーサーの勝利は確実視されているが、低い投票率で勝利したならば昨年のクーデター（または「第2革命」）を正当化できない。そのため、政府及びPECは投票期間延長を決定したと考えられる。（26・27日の大統領選挙については5月28日付『かわら版』No. 37をご参照ください）

票集計作業が進む29日午前現在（現地時間）、現地報道は非公式結果として投票率43%、得票率はスィーサーが94～96%、サッバーヒーは3～4%と報じている（『アハラーム』、『マスリー・ヨウム』、『ドストール』、『シュルーク』各紙）。どの県においても両候補の得票率傾向は同様である。公式結果は6月1日または2日に発表される見込み。

スィーサーの得票率が90%以上に達していることは、事前の世論調査の結果が示したとおりであり、予想通りの結果といえる。興味深い点は、多くの県で無効票がサッバーヒーの得票数を1%ほど上回っていることである（『アハラーム』紙開票速報）。いかに有権者の間でサッバーヒーの人气が低いかを示す数字である。それほど今回の大統領選挙はスィーサーの信任投票という色合いが濃く、事前に結果が判明していた選挙であったといえる。

（金谷研究員）

©本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799